

平成 25 年 5 月 9 日

各 位

会 社 名 マーチャント・バンカーズ株式会社
 代表取締役社長兼 COO 古 川 令 治
 (コード 3121 大証 2 部)
 問合せ先 取締役 CFO 兼財務経理部長 宮 毛 忠 相
 (TEL 03-3502-4910)

海外子会社の新規連結に関するお知らせ

当社グループは、平成 25 年 3 月期連結決算において、従来非連結としていた Owaka Global Ltd (以下「Owaka」) について、直近に行った取引の重要性等を鑑みて、新たに当社の連結子会社とすることといたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 海外子会社の概要

Owaka は、海外投資のために使用する当社 100%出資の SPC です。その概要は以下の通りです。

① 名 称	Owaka Global Limited	
② 所在地	香港	
③ 事業内容	投資事業	
④ 資本金	5,000 US ドル	
⑤ 事業年度の末日	12 月 31 日	
⑥ 設立年月日	2007 年 1 月 12 日	
⑦ 代表者の氏名	古川令治 (当社代表取締役社長)	
⑧ 従業員数	—	
⑨ 主要株主	当社 100%	
⑩ 当社との関係等	資本関係	当社 100%出資子会社
	人的関係	当社代表取締役社長が役員を兼務しております。
	取引関係	当社より資金を貸付け、これを原資に、香港にて投資運用を行っております。
	関連当事者への該当状況	当社 100%出資子会社
⑪ 直近の財政状況 (注) (平成 25 年 3 月期)	総資産	1,420 百万円
	純資産	3 百万円
⑫ 直近の業績 (注) (平成 25 年 3 月期)	売上高	—
	営業利益	—
	経常利益	5 百万円
	当期純利益	5 百万円

(注) 同社が投資活動を本格的に開始したのは平成 25 年 1 月以降であり、それ以前に重要な実績が無い
 ため、上記の直近の財政状況及び業績については平成 25 年 3 月期当社連結決算のための仮決算 (平
 成 25 年 1 月から 3 月まで) の実績を記載しております。なお、金額は、平成 25 年 3 月末日現在
 の為替レートをもとに円建てで記載しております。

2. 海外子会社における金融取引の内容

(1) 金融取引の概要

当社は、Owaka において、US ドル建て借入をレバレッジとした、人民元定期預金運用を行っており、この金融取引の残高が、Owaka の期末総資産 1,420 百万円のうち大半を占めております。当該金融取引の平成 25 年 3 月末日時点の運用内容及び借入内容の概要は以下の通りです。

運用内容	期末残高	期末円貨相当額
香港ドル建流動性預金	13,831 千香港ドル	168 百万円
人民元建定期預金（平成 25 年 8 月満期）	40,000 千人民元	606 百万円
人民元建定期預金（平成 26 年 2 月満期）	40,000 千人民元	606 百万円
海外上場株式	1,926 千香港ドル	23 百万円

借入内容	期末残高	期末円貨相当額
US ドル建短期借入金（1 ヶ月ロール）	12,875 千 US ドル	1,211 百万円

（注）本件借入のため、上記預金及び株式を担保として提供するとともに、当社本体が連帯保証を行っております。

(2) 取引の目的

上記に記載の運用及び調達本件金融取引は、人民元と US ドルの間の金利差益及び為替差益の追及を目的としたレバレッジ取引であり、本邦の外国為替証拠金取引などに類する投資運用スキームの一種です。当社としましては、以下の点から合理的な投資運用取引であるものと考えております。

- ① 現状人民元と US ドルの間の為替レートは一定のレンジ内で推移している一方で、人民元（運用）と US ドル（借入）との間で金利差益（1%強）があり当面継続することが見込まれる。また、運用予定期間は期末日から 1 年未満の短期間である。これらから、本件取引は比較的少ない為替リスクで、金利差益を享受しうる運用方法であると判断している。
- ② 運用額及び借入額は多額であるが、担保である人民元定期預金の時価が US ドル借入の時価を下回った場合、ロスカットが行われるため、投資リスクは手元拠出資金（上記（1）の香港ドル建て流動性預金）に限られ、当社の余剰資金の範囲内である。
- ③ 取引金融機関である東亜銀行は香港の大手金融機関であり信用力に問題はない。

(3) 損益の状況

本件金融取引により、Owaka は、取引を開始した平成 25 年 1 月から 3 月までの期間において、受取利息、支払利息、為替差損益の合算で、営業外利益約 5 百万円を計上しております。

3. 会計処理方法について

当社では、本件取引の当社連結グループにおける重要性を踏まえ、平成 25 年 3 月期における会計処理方法を検討した結果、会計監査人との協議の上、以下の方法により会計処理を行うことといたしました。

- ① Owaka は投資専用のベークルであり所謂事業会社ではないが、本件取引の規模から、連結グループにおける重要性が増したため、新たに連結の範囲に含めることとする。
- ② 本件取引は、定期預金運用（資産の部）と短期借入（負債の部）が一体となった金融商品であるが、それぞれ独立した契約が存在していることから、連結貸借対照表に計上する Owaka の資産及び負債については、両者をネット（相殺）せず、グロス（両建）することとする。

4. 今後の見通し

本件新規連結及び資金の借入による平成 25 年 3 月期連結業績に与える影響については、本日付別途開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表の平成 25 年 3 月期連結業績予想に織り込んでおります。

また、平成 26 年 3 月期の業績に与える影響については、平成 25 年 5 月 14 日開示予定の決算短信にて公表予定の平成 26 年 3 月期連結業績予想に織り込む予定です。

以 上